

～読んでみない？こんな本～

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく 富山房



「あるばん、マックスはおおかみのぬいぐるみをきると、いたずらをはじめておあばれ…」

お母さんに怒られ、寝室に放り込まれたマックス。やがて寝室に波が打ち寄せ、マックスの船を運んできます。マックスは船に乗り込んで1年と1日航海し、着いたところは、かいじゅうたちのいるところ…。

映画化もされたこの絵本は、アメリカで1963年に出版され、「こんな本を子どもたちに見せていいのか」と当時の図書館員や保護者から批判の声が上がったといいます。それでもこの本はコールデコット賞を受賞し、世界中の子どもたちから好かれ、今でも人気があります。センダックの作品の多くがファンタジーの世界に軽やかに入っていけるように、この絵本も普段子どもたちが体験している現実から、これまた普段想像している別世界に行き、現実ではできないこと（けれども普段の遊びの世界ではしていること）を思う存分やりのけて、やさしい誰かさん（お母さん）の元へ帰ってくるおはなしです。いつの時代でも変わらずに子どもたちが求めている様々なことを、子どもたちにわかるように表現しているからこそ、この絵本は人気があるのではないでしょうか。

詳しくセンダックを知りたい方は、「センダックの絵本論（岩波書店）」「センダックの世界（岩波書店）」も参考になると思います。